

<主な使用工具> ※クラッチ周りに使用する工具は含まず

工具	主な使用箇所
ボックスドライバー 10番	ストレッチャー取付部(位置調整)、アルミプレート取付部(デブス調整)、リガー取付部、ベアリングウィール取付ネジ
ボックスドライバー 8番	バックステアホースクランプ(ードドライバーでも可)
ボックスドライバー 7番	ストレッチャーパイプクランプ固定部(角度調整)
+ドライバー #3(大きい+ネジ)	リガーボルト(+ネジタイプ)、ストレッチャーアルミプレート取付ネジ、ベアリングウィール取付ネジ
+ドライバー #2(一般的な+ネジ)	ストレッチャーパイプクランプ取付ネジ、レールストッパー取付ネジ、シューズ取付ネジ等 多数
+ドライバー #1(小さい+ネジ)	ラダーワイヤークリップ
-ドライバー #6 程度	バックステアホースクランプ(ボックスドライバー8番でも可)
メガネレンチ又はスパナ 7番	ストレッチャーパイプクランプ固定部(角度調整)・・・ストレッチャー取付状態で調整する場合

* サイズの合わない工具を使用すると、ネジ頭部の溝がなめるなどのトラブルにつながります。必ず適合するサイズの工具を使用しましょう。

* リガーボルトやストレッチャー周辺箇所など、コックピット内の樹脂製パーツを使用している部分では、スパナ、メガネレンチ、ボックスレンチなどを使用すると過剰な締め付けにより部品の破損につながります。ナットの締め付けはボックスドライバーによって行ってください。

* L板取付ボルト、ストレートピン取付箇所については、スパナ、メガネレンチ、ボックスレンチなどを使用して確実に締め付けしてください。

* 蝶ナットについては工具類を使用せず、手による締め付けを行ってください。プライヤー等の工具を使用すると、過剰な締め付けにより部品の破損につながります。

* シートレール面にCRC等の潤滑剤は使用しないでください。周辺の汚れや、プラスチック・ゴム類の劣化につながる可能性があります。